



令和2年 須坂市消防出初式

さくら...消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

# さくら

2020 4 (令和2年)

須坂市消防団広報紙

と申をき前は者あ宅で避・で坂揮が地・ののい風噴常い 誠り格団皆の を団  
うし賜に団記無つ・の難土・市のあ区千増お台での火気て先に'別及様ご日申長四月  
ごあり渡長憶くた田救指の災消りの曲水い風お発・象地ずあ厚なびに家頃しあ任一月  
ざげ'りにににも畑助示う害防本ま住川・て十り生台も球'りく消お族はあ任一  
いる心消お新務のへ活の積状全た浸水間河号すい等り境年と礼解のま様すた'り  
ま次よ防かしのの動広み部'員田とよで及は特自よ地変日ごし'活し並の'り  
第り団れい遂'の等報等確'署'が中甚るのび'に然る震化本さあ'動てび皆  
たで敬活まと行死者'を活の認'員田とよで及は特自よ地変日ごし'活し並の'り  
す意動しこで者'はな・防警と出前大北土側須昨災豪・か全いげ協'にはに様  
そ'とでてるき行は'ボ活'の動団な相砂溝坂年害雨火ら国ま'力対'職・  
しあ感こはでた方'い'動活連し長被之崩等市十がや山のにすす'し消場団  
り謝'すこ不'動活連し長被之崩等市十がや山のにすす'し消場団  
がを力永'と明く住ト・動携須指害島落で内月続暴の異お'賜'防の員

## 団長就任挨拶



須坂市消防団長 中村 公彦



須坂市消防団音楽隊長 徳武 洋子さん

長野県男女共同参画推進員会議表彰を受賞

い存がのな消長は たなえ様誇だがをのののとがに十 け皆念一れ被  
申でら皆が防会あ最い訓てにりけ、'ざ'検あ時伝築代年さて様しい日の害  
しす'様ら団をり後と練いはとで私下い討り代統いわのてまになたで地を  
あ'精方'皆はまに思'た魅すのた記まを方ををてり平'い寄がだも区受  
げ何一と須様じす'つ活だ力る活ちにす重をそ継くま成元りりけ早'け  
ま'杯連坂方め'がた動けと気動団掲'ね'え承だしを号ま添'まく住ら  
ぞ努携市の'だ'おにる安持で員載'てし'るし'さ'経はす'つ引す安民れ  
す'よめ協消ごし'団まり努べ心ちのはし消いつ須なり'昭'てき生心のま  
ろて力防協ま本だ'まめく感'がな使'て防るか坂がま先新和'の続活し皆し  
しまし本力す部力'す'て'市'く命'お'団'り'市'ら'し'輩'た'ら'か  
い'合'部'を'須'不'ま'効'し'民'感'り'と'事'消'も'た'皆'な'ら'  
お'る'い'賜'坂'足'り'果'て'の'こ'か'ま'は'る'協'防'歴'様'令'約'  
願'所'な'署'り'市'団'で'り'の'捉'皆'の'ら'す'一'議'団'今'史'方'和'三'続'の'祈'し'ぞ

## 消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時に消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」という思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長 中村 公彦

須坂市消防団管轄区域 第1分団 1部 穀町、上町 2部 坂田町、南原町 第2分団 1部 本上町、上中町、中町、常盤町 2部 屋部町、小山町、北原町 第3分団 1部 横町、東横町、立町 2部 南横町、北横町、馬場町、西町、須坂ハイランド町、田の神町 3部 八幡町、境沢町 第4分団 1部 春木町、新町、太子町、相森町 2部 高橋町、大谷町、本郷町

## 消防団員 募集中

地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。

私たちと一緒に地域を守る活動をしてみませんか！  
須坂市消防団では男性、女性問わず随時団員の募集をしております。お気軽にお問い合わせください！  
☆学生消防団活動認証制度をご存知ですか？  
消防団活動に取り組んだ大学生・大学院生・専門学生について、地域社会への貢献を市が認証することにより、就職活動の支援を行うもので、企業の採用担当者等へ提出し、消防団員として社会貢献してきた実績を評価してもらえるよう、アピールすることができます。

お問い合わせ  
須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)  
e-mail:s-soumu@city.suzaka.nagano.jp

## 須坂市 火災発生状況

2019年中の火災発生件数

建物	8件
その他	9件
合計	17件

令和2年度 全国統一防火標語  
『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』

りんご等果樹の枯れ枝を燃やす際は、消防署への届け出が必要。また、風向きや近くの可燃物にも留意してください。

本年の分団長会です！よろしくお願いいたします！

### 【編集委員】

副団長	関 延之
ラッパ長	湯本 直樹
音楽隊長	徳武 洋子
第1分団長	山岸 製婆
第2分団長	垂 澤 優樹
第3分団長	下 田 悟司
第4分団長	荒 井 悠希
第5分団長	丸 山 界人
第6分団長	黒 川 敦人
第7分団長	市 川 洋平
第8分団長	成 山 隆司
第9分団長	卯 之 原 正幸
第10分団長	松 峯 昌男
第11分団長	小 林 大介

## 定期演奏会御礼

昨年11月に開催しました第35回定期演奏会には、たくさんの方にお越しをいただき、誠にありがとうございました。  
今回の演奏会の直前に、台風19号の災害により須坂市でも大きな被害があり、須坂市を元気にしたいという思いのなかで開催させていただき、毎年、皆様からの心もった寄付金はおかげさまで約28万円のご志をいただき、須坂市に全額寄付させていただきました。  
今年も皆様楽しんでいただけるよう、日々の訓練に励んでいます。  
第36回定期演奏会も是非ご期待いただき今年も多くのご来場をお待ちしております。

須坂市消防団音楽隊長 徳武 洋子

## 前分団長の方々です！お疲れ様でした！

### 編集後記

編集委員長 丸山 界人

分団長会長 丸山 界人

元号も令和に変わり一年がたとうとしています。近年の自然災害は複雑化、大規模化の傾向にあります。こうした災害にも対応できるように私たち消防団は訓練や研修などを通して技術や知識などを身につけてまいります。ですが、高齢化や少子化などで消防団員のなり手不足は深刻です。

地域を守るために、これからの新入団員確保に、ご協力ご理解よろしくお願ひします。



阿部 恵子さん  
阿部 雄大くん  
第4分団  
阿部 洋さんのご家族です

**消防団員 家族の声**  
梓屋と消防団  
僕の家は、「梓屋」という居酒屋をやっています。お父さんは、朝僕が起きる前から、真夜中まで仕事をしています。  
去年の台風十九号の時は、お店を途中でやめて、消防団の活動に参加したり、自分でボランティア活動に参加したり、すごいと思いました。よく、お店に消防団の人達が来て頂いてありがとうございます。  
みんな、仕事が終わった後に消防団の活動をして偉いと思いました。お父さんが、お店の仕事が終わらなくて、あまり消防団の活動に参加できなくて、ごめんなさいと謝っていました。  
僕も大きくなったら、消防団の人達みたいになりたいと思いました。

### 消防団員 家族の声

#### 梓屋と消防団

### 消防団の皆様

消防団の皆様、日頃の活動また訓練大変ご苦労様です。以前は消防団についての知識はほとんどありませんでしたが、家族が所属し少しずつ皆様の活動を知るところとなりました。市の技術大会やパレードなども拝見させていただきました。  
また、先の台風の際は困難な状況の中でもとても頼もしく感じ、心から感謝しています。ありがとうございます。  
私は、息子夫婦がラッパ隊、音楽隊にそれぞれ所属しており、定期演奏会に足を運ばせていただきました。素晴らしいステージの姿を観られたことは心に残る思い出になりました。  
これからもお互い支えあい、無理せず活動に励んでいってください。私も陰ながらですが、応援し続けていきたいと思います。



荒井 恵子さん  
第1分団2部  
荒井 秀一さん 彩花さんのご家族です



▲幹部研修  
(2月14日 須坂市消防署)

### 写真で見る消防団活動

令和2年  
1月～3月



▲第9分団 通常点検  
(3月1日 須坂市文化財保存倉庫)



▲第10分団 通常点検  
(3月1日 須坂市文化財保存倉庫)



▲火災防ぎょ訓練 担当第1分団  
(3月1日 穀町及び北原町)



▲秋季ラッパパレード  
(11月3日 第8分団管内)



▲市街地分団ラッパパレード  
(11月3日 第3分団管内)



▲須坂市消防団音楽隊定期演奏会  
(11月10日 メセナホール)



▲第6、第11分団 積載車配備  
(11月29日 消防本部)

### 写真で見る消防団活動

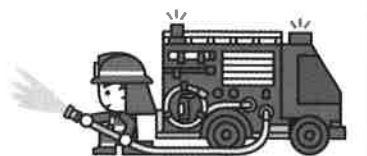
令和元年  
10月～12月



▲歳末特別警戒  
(12月26日～30日 市内)



## 消防団員の声



第2分団 2部  
団員 齊藤 喬敬

**本業を持ちながら**  
私が消防団に入団して二年目になりました。入団のきっかけは、勧誘に来ていただいた団員の方のお話を聞いて、本業を持ちながらも活動できると思い入団に至りました。活動としては毎月の放水訓練、火災予防運動の半鐘活動、夜警等の地域の防災活動を行っています。中でも昨年10月に発生した台風十九号の災害時の出動が特に印象に残っています。他の分団管内への応援で、激しい雨の中、住宅への浸水を防ぐ為に土のうを積みに行きました。  
大きな災害では消防署の方々の対応では対応できないのを目の当たりにし、消防団の必要性を肌で感じる事ができました。  
本業がある中で消防団活動は、時に負担に感じる事があります。しかし、地域にあってはならない消防団、その一員としての自覚と誇りを胸に、これからも地域防災の為に頑張っていきたいと思えます。



第5分団 2部  
団員 川口 雅也

**消防団を通じて**  
消防団に入団して二十年目になりました。  
二十二歳の時に、地元の先輩から誘われ入団しました。ポンプ操法の選手を六年前にやった時は、頭の中では理解していても身体がついていかず苦労しました。そんな私に對しても丁寧に、指導してくれたことはいい思い出です。  
また、早朝の二週間訓練では、終了後すぐに出勤する日々が続きました。しかし、消防団に入団し沢山の仲間が色々な活動を通して団員と交流することが多くなり、私の中では視野が広がり、いい経験です。  
最後に、消防団活動において、会社の理解、協力のもとに、地域の皆様や仲間達に支えられていることを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思えます。